

梅の香りが残る曾我丘陵ハイキング

日時：2023年3月11日（土） 天候：晴 健脚LV1 歩数：28000歩 距離：18km

集合：JR御殿場線下曾我駅 9時30分

コース：下曾我駅→曾我梅林→展望所→一本松跡（標高185m）→六本松跡→曾我山→
不動山（標高327m）巻道→浅間山→四季の里→おおいゆめの里→こもれびの森→ビオトピア→
祠と三角点→東名高速道路大井松田料金所脇→川音川河川敷→小田急新松田駅

参加者：河野L 常盤SL 市村SL 岩元SL 勅使河原 平石 熊坂 斉藤 山内 清水 井内 加来
小田 奥村 高山 脇坂 内海 鹿島 鈴子宏 戸崎 玉利 芦田 大城 横山 工藤 立川
26人

3月、健脚解禁です。2023年初健脚コース、河野リーダーもびっくりの26人が下曾我駅に降り立ちました。この日の小田原は最高気温20度超えと暖かく、雨の心配なしのハイキング日和となりました。

河津桜をはじめとした早咲き桜、名残りの梅の花と菜の花、キブシ、ミツマタ、スマイレ、紫モクレン、コブシ、ミモザなど色とりどりの花が咲き誇り、フキノトウも芽を出し始めて春爛漫。みなさん春の訪れを楽しみ、熊坂さんや内海さん達花好きの方々はテンションが高くなっていたようです。

曾我丘陵は標高300mほどの低山ですが、西の箱根連山、伊豆半島、南の相模湾、東の関東平野が一望でき、北に進むにつれて箱根連山の景色が変わっていくのも楽しみです。浅間山まで進むと大山をはじめとした丹沢山塊が眺望できたのも魅力でした。

河野リーダーが小気味の良いピッチで先頭を歩きます。今回健脚コース初参加の人もがんばって歩いていただきました。四季の里・おおいゆめの里で1時間近いランチタイムをムとったのにもかかわらず、新松田駅にほぼ定刻の16時5分に着きました。春の息吹を感じ、少し汗ばむようなサクサク歩きハイキング、心身ともにリフレッシュできました。



紫モクレンの下で

木造蔵造り風の下曾我駅～梅の里センター～ストレッチ&コース説明

国府津駅下り 8時31分発に乗車、8時36分の下曾我駅へ到着。下曾我駅は、1911年(明治44年)に国有鉄道東海道本線の下曾我信号所として開業。駅舎は木造蔵造り風白壁、赤い丸型郵便ポストが映えます。駅舎内に「まつだ桜まつり」と「(JR東海なので)スイカは使用できません」のポスター掲示。集合時間は9時30分、少し時間があるので駅西側へ、ホーム越しに曾我丘陵を一望。地下歩道に地元のおまつり「傘焼きまつり」の壁画がありました。梅の里センターへ、清水さんの「お買い得よ」で梅干(500円)を購入。次の電車が到着して全員集合、駅前広場でストレッチ&河野リーダーがコース説明をしました。



下曾我駅 9時45分～菜の花 富士山 名残りの梅の花～展望所で小休憩

晴、下曾我駅を9時45分にスタート。駅前商店街通りの「曾我乃正栄堂」、ここの「五郎力餅」は、力持ちだった曾我兄弟の弟五郎にちなんでつくられたそうです。昨年お土産にして帰ったところ好評でした。曾我梅林の菜の花畑を歩きます、前方は曾我丘陵。後方に富士山がくっきり、手前に矢倉岳、その左に金時山と明神ヶ岳。曾我別所梅まつりは2月26日で終了していましたが、名残りの梅の花を少し楽しみました。公園の一角にある「小田原牧場アイス工房」、下見のときにはアイスを食べましたがこの日はスルー。山内さんが「寄らないのですか」と残念そう。農道へ、10分ほど上ると汗ばんできて衣類調整と水分補給。さらに10分ほど上り、石垣が積み上げられた展望所で小休憩、足柄平野と箱根の山並みが一望できました。



展望所～一本松跡(標高 185m)～六本松跡～曾我山高台～山道入口

みなさん大分軽装になって上ります。一本松跡へ、「標高185m」の表示がありました。さらに進み六本松跡へ、ここまで来ると東側の景色、二宮の吾妻山や平塚の湘南平が一望できました。ここからは曾我丘陵を北進。アスファルト道を少し上って曾我山耕作放棄地再生活動で整備された高台へ。看板に「素晴らしい景観をゆっくりお楽しみください」と書かれていて、西の箱根連山・伊豆半島、南の相模湾、東の関東平野が一望できました。お菓子の差し入れがあり英気を養って再スタート。さらにアスファルト道を上り山道入口へ、後続を待って河野リーダーを先頭に木々に覆われた道を上ります。土の感触が何とも言えず嬉しくなります。



曾我丘陵最高峰不動山(標高 327.7m)巻道～キブシの花～浅間山

かなり急な上り、みなさん列をなして続きます。不動山上り口の赤いマーカーが出てきました。リーダーが「急峻な道になりますので上りません」と説明、不動山巻道を進み、7分ほど歩くともう一方の上り口へ。2022年1月22日に曾我丘陵最高峰へ上りました。写真でも分かるように周りは木々に囲まれて展望悪く、標高327.7mの小さな標識があるだけで山頂踏破の達成感は余りありません。アップダウンを繰り返して進んで行くと、黄色いキブシ(木五倍子)の花を見つけた熊坂さんが「もう春なのね」と実感がこもったつばやき。自然界ではみなさん詩人になりますね。いくつかの無線中継所を通過して浅間山へ到着。



浅間山～アスファルト下り道～カタツムリ～12時20分 四季の里

浅間山到着と書きましたが、山頂場所は良く分かりません。ここからは、四季の里（いこいの村）までアスファルト道になり下る一方です。カタツムリ発見、道の脇に寄せてあげると、どなたかが「カルシュウムをとっていたのかしら」。なるほど余計なことをしたのかな、でも取りあえずは命にかかわることですから。「いこいの村あしがらまで0.7km」の標識。左に矢倉岳、大分近くなったような気がします。右に綺麗な稜線の大山、その右ズーム最大で権現山の展望台をパチリ。緩やかな下り道になり集団になって下りていきます。リーダーの「12時30分、遅くとも13時には四季の里へ」より早い12時20分に到着しました。



四季の里 おおいゆめの里 満開の河津桜 13時20分午後のスタート

四季の里やおおいゆめの里のベンチで昼食タイムです。足柄平野を一望でき、河津桜が満開で大勢の人が花見を楽しんでいました。明神ヶ岳や金時山、矢倉岳を眺めながらのおにぎりの美味しいこと。四季の里で3個150円の清見を購入。13時20分に午後のスタート。道端にミツマタの花が咲いていました。



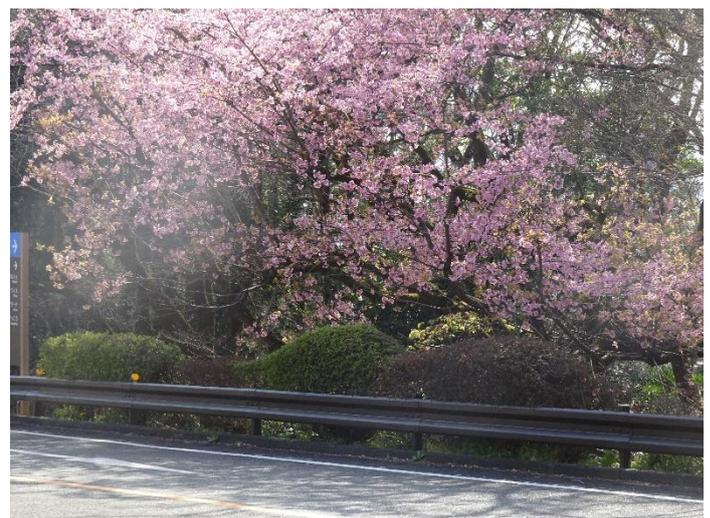
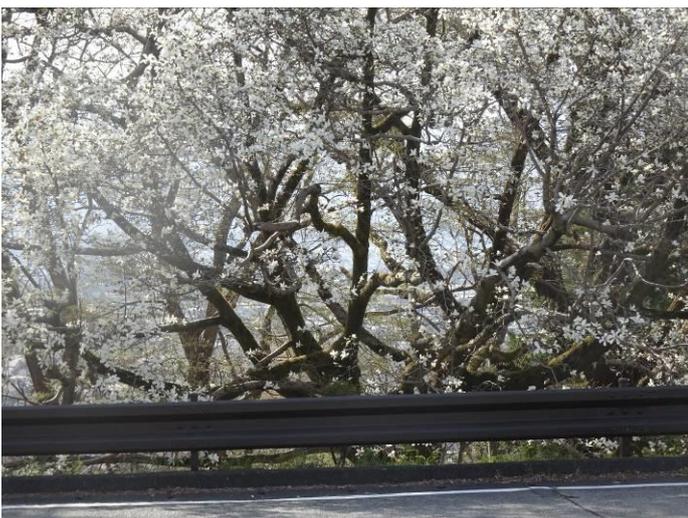
こもれびの森 カサカサと枯葉を踏みしめ 集合写真～上大井駅方面へ

おおいゆめの里の中のこもれびの森へ入ります。少しアップダウンのある木漏れ日道、カサカサと枯葉を踏みしめる音が耳に心地よく響きます。可憐なスマレの花が咲いていました。桜を背景に集合写真を1枚。森を出て車道へ、蕾のモクレンの花を青空越しにパチリ。ここから南西方向の上大井駅方面へ下ります。



上大井駅方面2. 1 km地点～桜 菜の花 ミモザ～コブシと桜の満開競演

10分ほど歩いて「上大井駅2.1km」の標識のところまで下りてきました。道路沿いの民家の庭先や畑に、桜、菜の花、ミモザなど色とりどりの花が咲き誇っています。玉利さんが岩元さんの黄色の服を見て「私たち桜とミモザのコラボよ」、ということでツウショットの写真を1枚。坂道を下りきって上大井駅とは反対方向へ右折、平坦な道を北西方向へ。大分汗ばんできて少し長い列になりました。畑地の先の丘陵斜面に広がる墓地を眺めながら水分補給の小休憩。一息つき小高い丘にあるビオトピアをめざします。再び上り道、10分ほど歩いてビオトピア南門へ。道路沿いのコブシと桜の花が満開競演で出迎えてくれました。



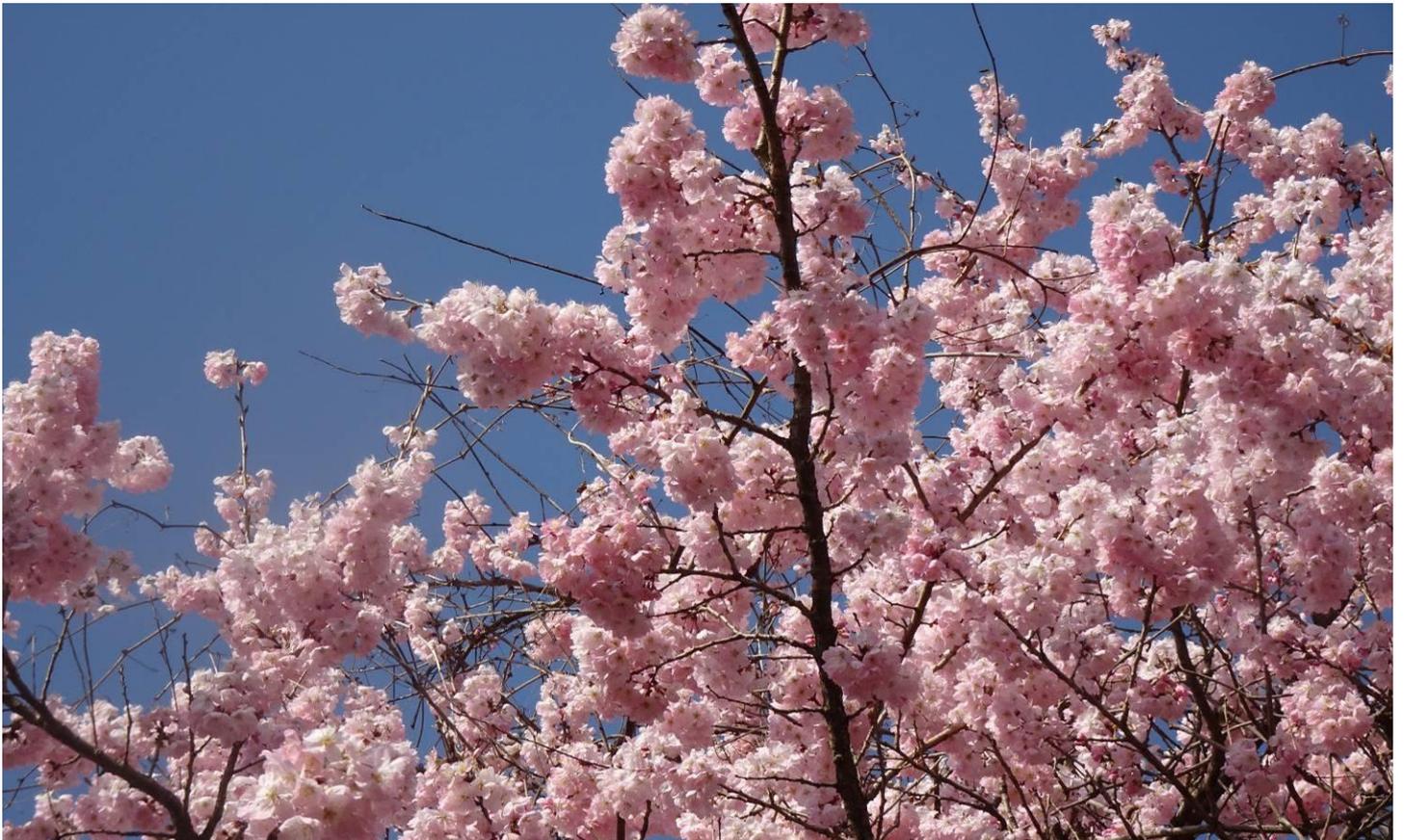
ビオトピア 14時45分～紫モクレン～山道へ～祠と三角点～山道下り

ビオトピアでトイレ小休憩、コーヒー豆などを買い物した人が全員集合して14時45分にスタート。広大な敷地の中には3つのミニウォーキングコースが整備されています。アスファルト道から膝に優しい土のウォーキングコースに入り、北に進んで行くと紫と白のコントラストが鮮やかな紫モクレンの木が1本、この日2枚目の集合写真を撮りました。イノシシが出没するようで「イノシシ注意」の看板と檻が仕掛けられていました。ウォーキングコースを外れて鳥居の見える山道を上って行くと、祠と三角点がありました。一人が通れる細い山道を満喫、ここではさすがに写真をとれず、大分下ってきたところで写真をパチリ。



元気に山道下り～東名高速道路大井松田料金所の脇へ 満開の河津桜

みなさん元気に下ります。東名高速道路大井松田料金所の脇へ下りてきました。なんと満開の河津桜、「ハイキングお疲れさま」と青空に映えています。みなさん、「春爛漫」をスマホで撮っていました。



川音川河川敷～公園でクールダウン～16時05分 小田急新松田駅

大井松田料金所脇から一般道へ出ます。県道77号を進み、小田急踏切を渡って酒匂川支流の川音川河川敷へ下りました。前方手前に御殿場線の鉄橋、川音川はその先で酒匂川に合流します。前方遠くの山並みは左に明神ヶ岳、右に金時山、曾我梅林から見た景色とは大分変わりました。河川敷を出て公園でクールダウン、16時05分にゴールの小田急新松田駅に着きました。歩数2万8000歩、距離は18kmでした。



歩数:2万8000歩 みんないい顔をして歩いていたのが嬉しかった(河野)

今回の企画、11月14日に河野リーダー、常盤さん、風間さん、市村で下見をしました。国府津駅からスタートして、曾我丘陵→四季の里→富士見塚ハイキングコース→新松田駅まで歩きました。しかし歩数3万2000歩、距離が20kmになってしまい、少し距離が長いということで下曾我駅スタートにしました。ところが年が明けて富士見塚ハイキングコースで通行止めになっていることが分かり、四季の里→ブルックス→新松田駅に変更しました。河野リーダーは「安全に楽しく予定時間で歩ことができました。みんないい顔をして歩いていたのが嬉しかったです。機会があれば富士見塚ハイキングコースを計画したいと思っています」と話していました。

(いちむら記)